

公益充実資金の明細

令和8年3月31日現在

(単位：円)

資産の名称	内容及び 実施時期	積立限度額及び その算定根拠	前年度 期末残高	当年度 積立額	当年度 取崩額	当年度 期末残高
創立記念積立資産 2	本法人では創立から5年ごとに創立記念事業を実施している。当該記念事業では、記念講演、記念出版（記念誌含む）、特別表彰等を実施し、書の振興・普及の充実を図っている。	創立60周年記念事業（平成23年度）では12,739,000円、創立65周年記念事業（平成28年度）では9,135,000円を決算において計上している。当該過年度の実績から創立70周年記念事業の積立限度額を10,000,000万円としているが、諸状況に鑑み75周年では12,000,000万円、80周年では13,000,000円とした。	25,000,000	0	0	25,000,000
創立85周年記念積立資産	本法人では創立から5年ごとに創立記念事業を実施している。当該記念事業では、記念講演、記念出版（記念誌含む）、特別表彰等を実施し、書の振興・普及の充実を図っている。	創立60周年記念事業（平成23年度）では12,739,000円、創立65周年記念事業（平成28年度）では9,135,000円を決算において計上している。創立70周年記念事業では収入分を除いて、11,000,000円ほど支出している。そこで、将来を見通した諸状況に鑑み85周年では12,000,000円とした。	12,000,000	0	0	12,000,000
芸術文化振興積立資産	現在減少傾向にある団員数を将来の趨勢に向けて維持、拡大し、また団員等関係者を積極的に育成するために、令和3年度中に5,000万円を積み立て、令和4年度から15年間に亘って目的を達成するため事業を強化したい。実施にあっては、本団定款の事業項目に沿って広く普及、啓発を図り、展覧会、鍊成会、講演会及び講習会等の運営や、インターネット等を活用して実績をあげていきたいと考える。 ただし新型コロナウイルス感染症が収まらなかったため、初年度は100万円を取り崩し、次年度以降350万円ずつ取り崩す計画としたい。以上を実行することによって、本団の目的である理念の継承及び発展を図りつつ、我が国の芸術文化の振興と発展に寄与していきたい。	講演会及び講習会を実施した場合、1箇所50万円と見積もり初年度は2箇所で100万円、次年度以降は7箇所350万として15年間で5千万円として見積もった。	42,228,545	0	3,728,545	38,500,000
合 計			79,228,545	0	3,728,545	75,500,000

※ 算定数値は、定期提出書類の作成ルールに基づくものです。